

お金に余裕がない狛江市で、お金を使わずアタマを使った、市民全体のための市政を目指します。



わかりやすく
お伝えします！

無所属の狛江市議会議員 三宅まことの 市政レポート

Vol.4 2016年春号

市政報告レポート 2016年春号【発行】狛江市議会議員 三宅まこと事務所
〒201-0004 狛江市岩戸北3-18-8-701 TEL:090-3815-6045 FAX:03-3489-1677

公式HP <http://三宅まこと.com>



平成二十八年度、新年度がスタート致しました。春の穏やかな風が皆様の頬をかすめて、日に日に暖かさを感じられていること存じます。

ちょうど一年前の四月に狛江市議会の一員とさせていただきます。私も、年四回の定例議会を終え、三月の「予算特別委員会」では、平成二十八年度予算審議に臨むこととなりました。

委員会では、少子高齢社会の流れで一般会計二百六十五億の半分を占めるようになった民生費の内訳に関し、近年の狛江市における人口増加、子育て世代増加を鑑み、のメリハリある予算措置がなされているかを検証いたしました。

すなわち、児童福祉費予算に関して、狛江市において顕在化してきた「待機児童問題」解消のためどの程度、予算が割かれたかという視点です。具体的には、児童福祉費の直近平成二十六年度決算と平成二十八年度予算での差分が、九億五千万円、伸長率にして二十%増と、他市と比較しても特筆すべき水準であることが確認できました。

前市政時代には、公設保育園への極端な偏重により、保育園定数が少なく、運営経費の市コスト負担が大きい、更には市職員構成の中で相対的に保育士職員が多い、という保育行政上の「怠慢」が見られたわけですが、現市政になって隔世の感がござい

ます。

さて、狛江市は新しくお住まいになられた方が多くなってきたわけですね。「お帰りなさい。狛江のまちへ。」そう皆さんが日々の生活の中で、感じていただけるような狛江市を一緒に目指してまいります。

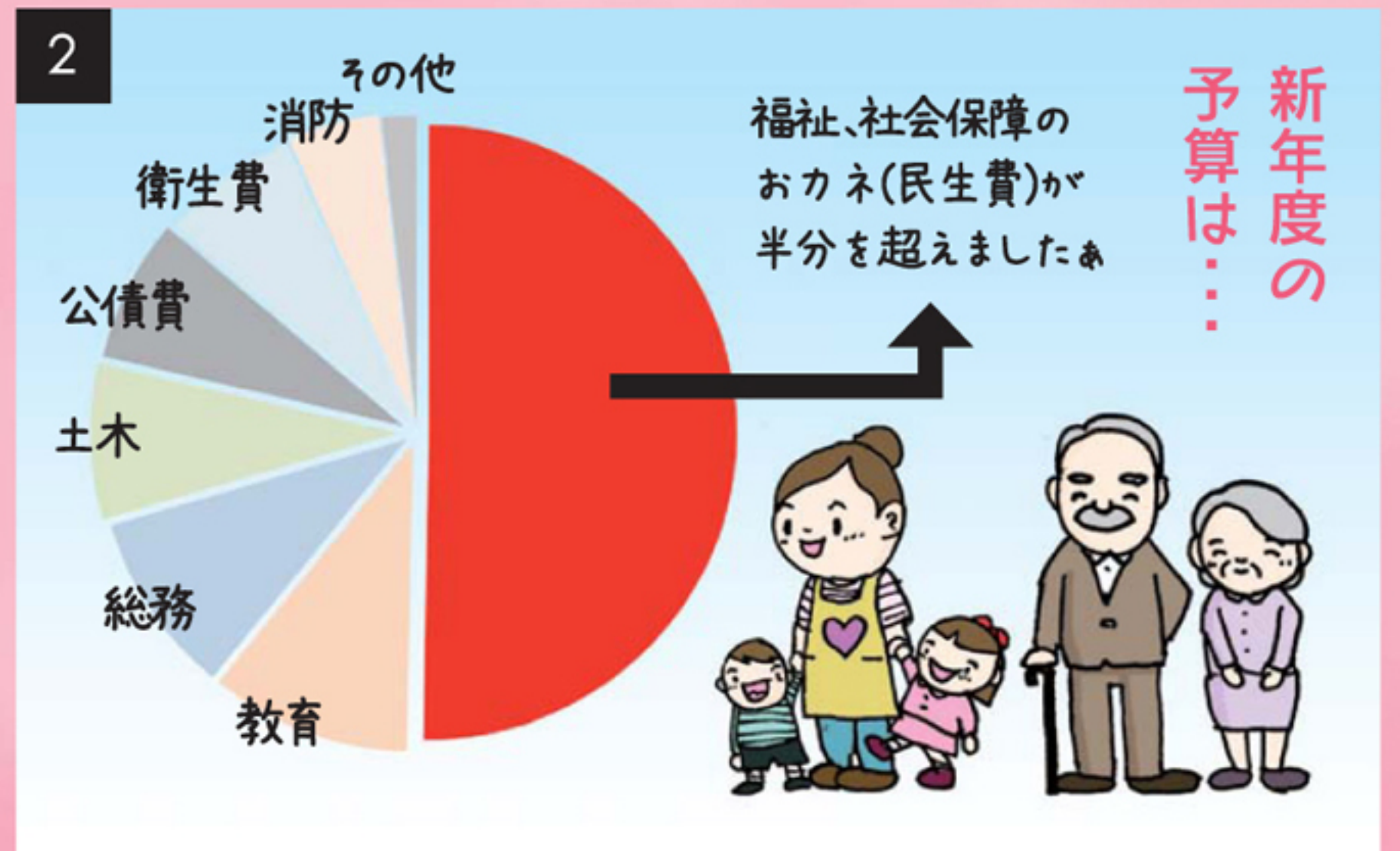
無所属の市議会議員 三宅まこと

一般会計265.8億円の予算は、市民一人あたりでは332,000円となります。そのうち、最も構成比が高い民生費は167,000円使われることとなります。

1

平成24年以前までは借金が多くて貯金も少なかったけど現市政に変わってからお金の使い道ルールが徹底されて、だいぶ改善されてきました。

狛江市の財政状況を簡単に言うと



3

予算委員会では、いろんなことを言う議員さんがいますが...

「あれも欲しい...」「これも欲しい...」

「ヤシムン...」

「無難な話...」

4

新年度1年間のお金の使途

認定

将来世代を意識した予算編成となりました

プレイパークへ行こっ!

「議会改革」のお話はしつこく裏面でご報告いたしますのでご覧くださいませ。

ウラ面へ続く

「議会改革」を話し合う議会運営委員会の中身をご報告します。

議員自身の定数や報酬、政務費の透明性担保といった議会改革は、「議会運営委員会(議運)」で話し合われることとなります。1月29日に開催された議運で話し合われ、委員長が総括した内容を議事録から抜粋してご報告します。

- ▶ 議員定数削減の件、議員報酬の件に関しては確実に議運で話しされる前提で会議が持たれている。
それ以外にせつかくやるのであれば(議会改革上の他案件の)、プライオリティを決めてやっていかななくてはならない。
- ▶ (議員各氏の意見を聞いた結果として)議会改革で話し合うべき課題としては、
①陳情の扱い ②政務活動費 ③ホームページ等を活用した議会情報公開、以上に収斂する。

①陳情は、請願&陳情の取り扱い、提出者への説明も含めて、各会派で一度持ち帰り、次回議運で仕切り直し。②政務活動費は、領収書をネット公開していない現状について、各会派で一度持ち帰り、次回議運で仕切り直し。③議会情報公開は、委員会のインターネット公開、及び市議会独自ドメイン取得によるリニューアルについて、費用対効果を整理した資料を作成したうえで、次回議運で仕切り直し。



開かれた
議会じゃないのか！

いまだ、政務活動費の
領収書ネット公開くらいは、
最低限だと思っておりますが、
なかなか議論が進まなくて
誠に申し訳ございません。

以上が、「議運」にて話し合われた内容です。市民アンケート等を拝見しますと市民の皆様の関心が高いのは、私自身も含めた議員定数、報酬が適正かという問題です。しかしながら各会派の意向の集約が難しいという理由で先送りされ、なかなか本題に踏み込めない状況が続いております。平成29年3月までに議会へ答申することになっておりますので、今後1年間の議運にて導かれていきますでしょう中身は、改めてご報告させていただきます。

議運出席者は、会派代表者となり議員全員が出ているわけではないことから、その場では結論がなかなか導かれずに「会派持ち帰り」での仕切り直しが多くなります。民主主義が原則の議会ならではの仕組みですが、サラリーマン生活が長く、物事をスピーディに進めることに腐心していた私には、これ以上のまどろっこしい事ったら、ありやしません。トホホ。

メール(miyakemakoto@sakurasaku.or.jp)にてご意見をお聞かせください。

狛江の数字

1.51%

昨今、東京都心への人口流入が続いているわけですが、都心から少し離れた狛江市でも都心並みに人口が増えているというのが、この人口伸長率の数字です。住民基本台帳ベースで平成26年1月と平成27年1月の伸長率を比較しますと、東京都1位は千代田区の5.01%、2位中央区4.13%、3位港区2.33%、4位文京区1.54%、そしてなんとびっくりぽん、狛江市が1.51%でベスト5につけています。また18歳未満人口構成比に関しても、平成27年1月と平成28年1月で比較しますと多摩の同等規模の自治体の中で唯一、微増傾向(+0.2%)となっています。私は毎週月曜朝に狛江駅北口にて様々な「狛江の数字」をご紹介しておりますが、最近は人口に関してのお話も多くなっています。今年になって狛江市の人口は初めて8万人の大台を超えたわけですが、牽引役となっているのは、まさに「子育て世代」というわけです。人口減少に苦しむ他自治体からは羨望の的となっているのかもしれませんが。

ギカイのフシギ 全部紙でくる

来年度のお金の使い道を決める予算審議という重要な手続きが「予算特別委員会」となりますが、この審査のために市から提出される情報は全て「紙媒体」です。議会が始まる前に予算書や内容の詳細などを説明するための資料が配布されるわけですが、定例会用の議案説明書等と合わせて全部積み上げますと、高さが10cmを超えてしまいます。議員は22名おりますので、全員の資料を積み上げると、アンドレ・ザ・ジャイアントの身長並みとなります。紙の印刷はエコではありませんし、断捨離の世の中からも逆行しています。いつそのこと情報を電子化してクラウド等で提供し、必要なものは議員にポータルを持たせて、紙で見たければ自分で印刷させればよいのにも思います。議会というムラはいまだに昭和を引きずっているというお話でございました。



狛江市議会議員 三宅まこと

1964年 東京都生まれ。立教大学経済学部卒業。
1987年 広告代理店・東急エージェンシーに27年間勤務
2014年 12年5月、120名社員プロジェクトをリーダーとして運営中に、妻が病気を発症し、要介護認定に伴い介護休職後に退社。同時に自身が社会保障の重要性に芽生え、介護初任者研修、介護事務、実務者研修修了、同行介護従業者資格取得。
2015年 狛江市議会選挙にて、新人ながら1871票の得票数を頂戴し、全体の2位で当選。市議会議員活動以外に現役の介護ヘルパーとして活動中。
著書 「愛妻 納税 墓参り 家族から見た三宅久之回想録」(2014年イースト・プレス社刊)

TOPICS

今月より狛江市市民活動支援センター「こまえくぼ1234」がオープンいたしました。狛江市にお住まいの方には、様々な知識や経験、人脈を持ちの方がたくさんいらっしゃいます。そうした方々のスキルを地域で活かしていただくため、また市民協働やNPO団体設立等の支援も行う予定です。ぜひ一度、足をお運びください。